

伊能忠敬は

地図で日本を救った千葉の偉人だった！

千葉県中学歴史教科書読み比べ会 オフィシャルサイト: <https://kyokasyoyokunare.jimdo.com/>

中学歴史教科書 読み比べ

令和元年
6月14日(金)
第9号

<発行者>
千葉県
中学歴史教科書
読み比べ会

<連絡先電話>
070-6941-1941



伊能忠敬(1745~1818)
(千葉・伊能忠敬記念館蔵)
(自由社版中学歴史教科書より)

【はじめに】

千葉県の生んだ偉人と問われて、真っ先に思い浮かぶのは、**伊能忠敬**その人である。伊能の偉大さは、描いた地図の正確さだけでなく、**齢五〇歳**になって一念発起し、天文学や測量術を学び、その後約一七年間かけて、自らの足で日本全国を測量して回ったことだろう。

その正確な地図を見た外国人も、当時の日本の測量技術の高さに舌を巻いたほどである。

それだけではない。幕末に来日したイギリス海軍は、「攘夷派を刺激しない方がよい」との幕府の警告を無視して日本沿岸の測量を強行しようとした。しかし、たまたま幕府役人が所有していた**伊能小図**の写しを見て、その優秀さに驚き、測量計画を中止し、幕府からその写しを入手することで引き下がったのだ。

結果的に見れば、**伊能図**によってイギリス海軍と攘夷派との無用な衝突が避けられたと言えるのである。

このような**伊能忠敬**という郷土の偉人の功績を、教科書各社の歴史教科書は、どのように記述しているのだろうか。

以下、**東京書籍**、**教育出版**、**帝国書院**、**自由社**の順に引用する。

【東京書籍】

「国学と蘭学」本文一三〇頁
「…一九世紀初めには、民間出身の**伊能忠敬**がヨーロッパの技術で全国の海岸線を測量し、正確な日本地図を作りました。」

「新しい学問と化政文化」写真、側注一三〇頁
「伊能忠敬の地図(大日本沿海輿地全図 副本 東京国立博物館蔵)」

【教育出版】

「新しい学問と思想」本文一二四頁
「…伊能忠敬は、全国を測量して正確な日本地図を作りました。」

「新しい学問と思想」写真、側注一二四頁
「**伊能忠敬**(伊能忠敬記念館蔵)」

「**忠敬の地図と測量機器** 下総(千葉県)出身の**忠敬**は、五〇歳を過ぎてから江戸に出て、西洋の天文学や測量術を学びました。一九世紀の初め、幕府の命により、全国の沿岸を歩いて測量し、日本地図を作りました。」

【帝国書院】

「国学と蘭学」本文一三三頁
「西洋の知識は測量術を進歩させ、**伊能忠敬**はその技術をもとに正確な日本地図を作成しました。測量術や天文学が急速に進歩した背景には、外国船の来航により日本の地図を正確につくる必要があったことや、測量の基礎技術である和算が広まったこともありました。」

「国学と蘭学」写真、側注一三三頁
「伊能忠敬(一七四五~一八一八)と、伊能忠敬が作成した地図 忠敬は、北は蝦夷地から南は九州の屋久島まで、五六歳のときから約一七年かけて自分の足で歩き、測量して地図を作成しました。その正確さにより、明治以降においても、この地図にもとづいて地図が作成されました(↓巻末二)。」
東京国立博物館蔵

【自由社】

「新しい学問の発展」本文一三九頁
「…伊能忠敬は蝦夷地をふくむ日本全国を歩いて測量し、初めて正確な日本地図をつくった。」

「正確な日本地図をつくった伊能忠敬」コラム一四〇〜一四一頁

《地球の大きさを知りたいという科学的探求の精神と、国防の必要が結びついて生まれた精緻な日本地図の物語》

◎五十歳で天文学者に弟子入り

伊能忠敬は一七四五年（延享二年）、上総国小関村（現在の九十九里町）の網元の家に生まれました。幼くして母を亡くし、一八歳のときに佐原村の伊能家へ婿入りしました。伊能家は酒造業などを営んでいましたが、学問好きの**忠敬**は家業のかたわら和算や暦学に興味をもち、江戸から書籍を取り寄せて勉強しました。

五〇歳のとき、**忠敬**は家督を息子にゆずって江戸に出ました。そして幕府のお抱え天文学者・高橋至時（よしとき）の門をたたき、天文学や暦学の基礎を身につけました。

至時や**忠敬**は地球の子午線上の一度（南極と北極を結ぶ緯度一度）の長さを実測し、地球の大きさを知りたいという夢を抱いていました。そのチャンスは、思いがけなくやってきました。……

◎命がけの測量

忠敬の導線法という測量術は、さまざまな器具を使って角度・距離を測りながら進んでいくものです。複雑な地形では縄を用い、平地では量程車（りようていしや）をころがして測ります。……

蝦夷地の測量は命がけでした。尖った大岩が立ち並ぶ海岸の難所を通り抜け、草鞋がすり切れるほどの距離を歩きました。……

◎伊能図の完成

全国を測量して回った**忠敬**はその実測値をもとにして日本全図の作製にとりかかりました。しかし、その完成をみないままに一八一八（文政元）年、七四歳の生涯を終えました。**忠敬**が測量のために蝦夷地から九州まで歩いた約三万五〇〇〇kmは、地球を一周するほどの長さでした。日本全図は幕府の暦局（れききょく）の人々によって一八二一（文政四）年に完成し、「大日本沿海輿地全図（だいにほんえんかいよちぜんず）」、別名「伊能図」とよばれました。

幕末に来日したイギリス海軍の将校は、日本を後進国と思って侮っていました。が、**伊能図**を見て「西洋の技術も使わずに、なんと正確なのか」とおどろき、測量は必要ないと引き上げてしまいました。

一八二一（文政一）年、オランダ商館の医師フォン・シーボルトが帰国時に**伊能図**の写本を持ち出そうとして発覚しました（シーボルト事件）。地図の国外持ち出しは国禁だったため、幕府天文方・書物奉行の高橋景保（かげやす）ら十数人が連座し、シーボルトは国外追放、景保は獄死しました。

伊能図は、和算の水準の高さ、科学をきわめようとする実証精神、困難にめげない不屈の魂の記念碑なのです。≪

東京書籍、教育出版、帝国書院の大手三社と自由社の記述の差は歴然である。

自由社は、二頁に亘るコラムを通じて、**伊能忠敬**の生涯を伝記風に描いている。一方、大手三社の記述は、日本地図を作った人物という程度にしか描かれていない。

子供が郷土の偉人の足跡に触れ、郷土を愛する気持ちを育むことができれば、千葉県民としてこれに勝る喜びはない。

教育基本法の第一章・教育の目的及び理念の中で、次のような記述がある。「（中略）（教育の目標）五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際

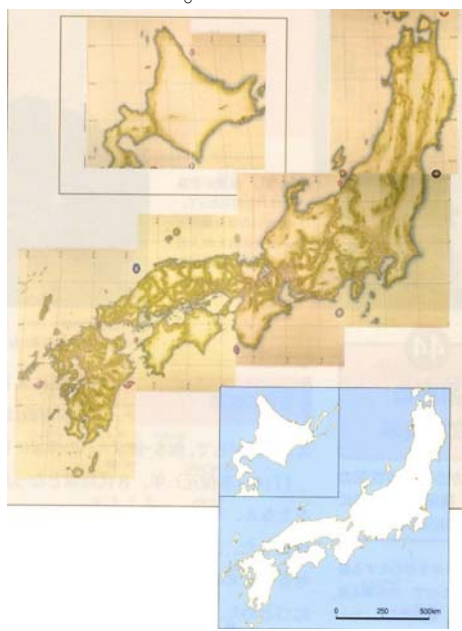
社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」

伊能の正確な地図によって、イギリス海軍は強行しようとしていた

日本沿岸の測量を中止した。これにより国内の攘夷派との無用な衝突は避けられたのである。つまり**伊能**の地図は、日本の危機を救ったと言っても過言ではない。

伊能忠敬こそ郷土の誇りであり、次代に伝えるべき人物である。

以上



伊能忠敬のつくった地図・大日本沿海輿地全図
（東京国立博物館蔵）
（自由社版中学歴史教科書より）

「中学歴史教科書読み比べについて」

大手三社の中学歴史教科書の全国採択状況は、左記のとおりです。
東京書籍（六〇万七八五六冊、占有率Ⅱ五・〇％）、**帝国書院**

（二二万三〇七七冊、占有率Ⅱ一七・九％）、**教育出版**（一六万八一七八冊、占有率Ⅱ一四・一％）

※平成二八年度版 文科省公表値より

私共は、この大手三社に加え、**自由社**の併せて四社の歴史教科書を約二年間に亘って読み比べました。その結果、正しい歴史の記述がなされ、子供が日本の国に誇りの持てる歴史教科書は、**自由社**の教科書であるとの結論に至りました。私共はこの結果を踏まえ、全国の中学生の子供を持つ父兄、及び教育関係者への周知を図るため、「中学歴史教科書読み比べ」を不定期に発行し、全国の八割以上の中学校で採択されている大手三社の歴史教科書の問題点を明らかにしてゆく所存です。（会員一同）

※バックナンバーご希望の方は、オフィシャルサイトへどうぞ。